

## 新型インフルエンザ予防接種のお知らせ

日本クラブ診療所  
2010年1月25日

新型インフルエンザワクチン予防接種は、National Health Service (NHS) のGeneral Practitioner (GP) において優先順位ごとの接種プログラムが実施されています。現在、生後6ヶ月以上5才未満のグループを対象にワクチン接種を行なわれています。

この度、迅速なワクチン普及を目的にプライベートクリニックでの接種が可能となった事を受け、日本クラブ診療所でも英国の接種プログラムで接種可能な方を対象に予防接種をおこなう事となりました。小児に関してはインフルエンザに感染した場合には、重症化と入院のリスクが高いと言われており予防接種が強く薦められます。下記内容をご確認のうえご利用下さい。

|       |  |
|-------|--|
| 対象者：  | 1. 生後6ヶ月以上5才未満の小児<br>2. 6ヶ月から65才までの、インフルエンザ感染のハイリスクグループの方（ハイリスクグループには慢性呼吸器疾患、心不全、腎不全、慢性肝炎などの基礎疾患を有するが含まれます）<br>3. 妊婦 |
| 場所：   | 日本クラブ北診療所<br>電話：020-7266-1121  |
| 接種料金： | 日本クラブ会員：£40.00<br>非会員：£60.00   |
| 接種日：  | 下記の日程からご希望の日時を選び、電話でご予約ください。<br>月曜日：2月1日、2月8日、2月15日、2月22日<br>木曜日：1月28日、2月4日、2月11日、2月18日、2月25日                        |
| 投与方法： | 現在2種類のワクチンが英国内で利用可能ですが、今回使用するワクチンはGlaxoSmithKline社製のPandemrix®です。成人、小児とも投与は一回です（小児0.25ml, 成人0.5ml）。                  |
| 注意点：  | <u>卵アレルギーの方に対しては接種ができません。</u> この方々は通常、もう一方のワクチン（Celvapan®）が使用されますが当院ではご利用いただけません。医師にご相談ください。                         |

小児のワクチン接種に関するNHS発行リーフレットの日本語訳したものをご用意してあります。

# 新型インフルエンザワクチン接種をおこなう皆様へ

新型インフルエンザワクチンは、本症の予防をするワクチンです。予防は完全ではありませんが、感染した場合でも軽症ですみます。

今回使用するワクチンは、Pandemrix（GSK製）です。

## 対象者と接種法

- (1) 6ヶ月以上5歳未満の小児：0.25mlを一回接種
- (2) ハイリスク患者：0.5mlを一回接種  
慢性呼吸器疾患（気管支喘息はステロイド持続加療中患者）、心不全、腎不全、慢性肝疾患、慢性神経疾患、投薬もしくはインスリン治療中の糖尿病患者
- (3) 妊婦：0.5mlを一回接種

以下の方は、ワクチン接種はできません。

- (1) 明らかな発熱がある、重篤な急性疾患にかかっている
- (2) 以前ワクチン接種で、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）の既往
- (3) 強い卵アレルギー（本剤は卵の成分が含まれています）

以下の方は、ワクチン接種に注意が必要です。問診票に記入した上で医師と相談して下さい。

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患あり
- (2) 予防接種で接種後2日以内に発熱及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈した
- (3) けいれんの既往（但し、小児の熱性けいれんは接種可能です）
- (4) 先天性免疫不全症
- (5) 気管支喘息の既往
- (6) 本剤の成分又は鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーの既往
- (7) 他のワクチン接種を一ヶ月以内におこなっている方、免疫抑制剤内服中、免疫グロブリン

## 治療後

ワクチン接種後は、急性のアレルギーを確認するため必ず15分間はクリニックに居てください。入浴は接種当日より問題ありません。はげしい運動は、接種当日には避けた方がよいでしょう。

## 副反応

- (1) 発熱：季節性インフルエンザワクチンより、頻度が多いと報告されています。  
他、頭痛や倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔気、下痢、筋肉痛等。  
子供はぐずったり、眠たいため睡眠時間が増えることがあります。  
→通常2～3日中に消失しますので、症状が軽い場合は経過をみてください。  
発熱に対して、パラセタモール等の解熱剤を使用いただいで問題ありません。
- (2) 注射部位の発赤腫脹、熱感、疼痛等を認めることがある。  
→この場合、まず局所を冷やしてください。通常2～3日中に改善します。  
それ以外の軽度でない副反応が出た場合は、受診してください。

以上